

「2023年度韓国・延世大学スプリングスクール派遣報告書」

京都大学工学部3年 古川 響子

①

留学前まではハングルを読むこともできず、知っている韓国語も挨拶程度でした。語学堂の授業を受けてハングルとその読み方を丁寧に学ぶことができました。また1級でしたが単語を100単語以上授業で扱い、動詞・形容動詞・形容詞・名詞とジャンルに偏ることなく広い範囲の単語を知ることができたのが成長につながりました。またセンテンスごとに暗記するので単語だけ知っているもの話せないといったことはなく、学んだ内容は日常生活で使えるものが多かったです。またさまざまな国の人と話す機会が多く、韓国だけではない異文化交流の機会がありました。とくに語学堂の休み時間はクラスメイトと直前に習った文章を読み合ったり会話をしてみたり、わからないことを聞いたりしてインプットとアウトプットを自然に行える環境でした。

②

今回のプログラムが人生の海外滞在で最も長い滞在でした。そして最も長く家族以外と生活する期間でした。チームメイトとの関係はとてよく出発前までは話したことのないチームメイトと一緒にご飯を食べたり買い物をしたりしてとても仲良くなりました。またネイティブスピーカーと話さなければならない場面も多く、今までの旅行であれば最初から翻訳機や英語を使っていましたが、韓国語を使うように心がけました。またチームメイトとはその日に習った韓国語を復習し会話を韓国語で行ったり、会話の節々に韓国語を組み込むなどして楽しくアウトプットをしていました。

③

1級の語学堂の授業ではハングルを3日ほどかけて練習しました。特に発音には厳しく、二重子音や日本語にはない母音の発音を何度も訂正され正しい発音に矯正しました。そのあと、基本的な文法を学びました。この範囲ではかなり多くの単語が出て来て、単語テストも毎日実施されるのでハングル表記も覚えられます。1級では話せるようになることがメインの目標であるため、教科書を声を出して読むスタイルで授業が進みます。ただ、内容の難易度としては事前授業の入門くらいなので事前授業を理解していれば易しい授業です。また特別講義は日韓の歴史と価値観について学びました。歴史を勉強したことがなく知識不足で挑みましたが、スライドが写真も多く具体的で一般的な英語で説明があり、日本語での説明も少しあったので分かりやすかったです。

④

もともと海外で活躍する人材になりたいと思っていましたが、具体的な今後の進路は特に決まっていませんでした。そのプログラムを通してさまざまな国の人と話したり生まれ育った環境と違う環境で生活することは、心配事や不安要素も含めて刺激的で人生に必要なだと感じました。特に大学という環境は多国籍な環境で楽しかったので、院での留学も視野に入れて進路を考えていきたいです。

⑤

이 프로그램은 정말 재미있어요. 저는 다시 한번 참가하고 싶어요.

⑥

大学では専門ではないですが、とても興味のあるジェンダーの講座を取りました。まず一般的なジェンダーの価値観やその歴史などを学び、韓国国内のジェンダー観を学びました。やはり、学んだことのない分野でしたので最初の授業はわからない単語も多く、翻訳機などを使いながら授業を受けました。ですが、写真や具体例を多く提示されており、シラバスも具体的で濃密なものだったので2回目以降は慣れて聞き取ることができました。ジェンダー論ですが特に交差性にフォーカスして授業が進みました。交差性とは2つ以上カテゴリーにおいてどちらもの弱者に当てはまる状況で差別されやすい性です。とくに'女性'は男性よりも弱者であるというステレオタイプがあるため、これに'在日コリアン'であったり、'有色人種'といった別のカテゴリーと複合することが多く、女性は交差性差別を受けやすいと言えます。また'女性'の差別に関してフェミニストはとても重要な相互関係にあり、フェミニストについても詳しく学びました。